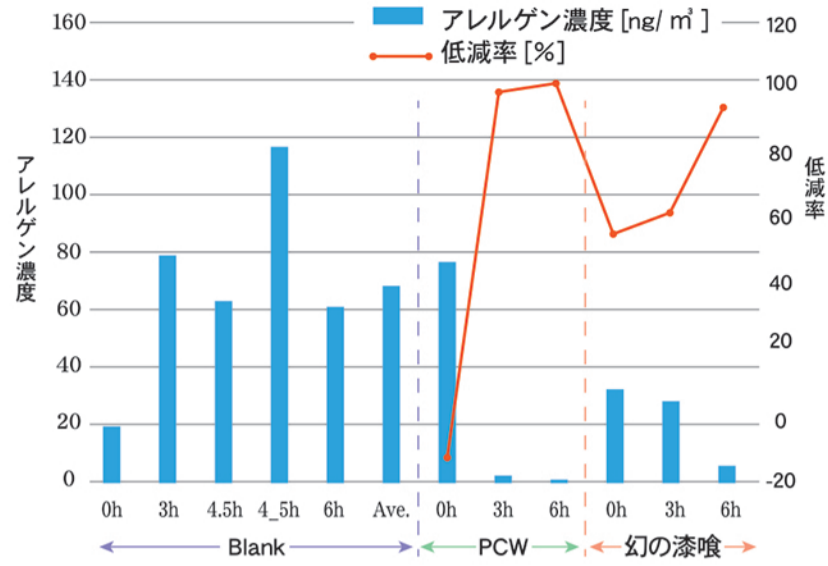


カイケンコーポレーションが発表 「幻の漆喰®」実証実験の結果



自然素材漆喰によるガラス板上での花粉低減評価実験結果



赤貝を原料にした「幻の漆喰®」(右)。職人でなくても施工が簡単にできるようにした「PCW」(左)。両商品とも無菌水を混ぜ、開封してすぐに使えるようになっている。

花粉アレルギー濃度を低減

木造住宅の健康自然建材メーカーのカイケンコーポレーション(株)(本社・福岡市、浦上直代表取締役社長)は、同社が開発した「幻の漆喰®」など2建材に花粉症原因物質の低減効果が見られたとの実験結果を発表した。実験した埼玉大学大学院の王青躍教授は「今後はメカニズムの解明を進め、国内外に発信したい」と話す。

日本花粉症学会でも注目

実証実験結果は9月に三重県で開催された日本花粉症学会で発表されたもので、同社と王教授が共同研究。10月12日に鹿児島島のさつま工場にて記者会見が開かれ、詳細が報告された。



幻の漆喰®の実証実験を行った王青躍教授(右)とカイケンコーポレーションの浦上直社長

今回、実験した「幻の漆喰®」は赤貝、「幻の漆喰®ピュアケアウォール」(以下、PCW)は鉱物を原料にしており、両方とも光や熱に反応し、化学物質や有害物質を吸着・分解する「光熱触媒」作用が特徴。この2建材を使って研究した王教授は、30年



10月12日に鹿児島県で開かれた記者発表の様子

来、花粉症の原因物質であるアレルギーの化学的解明をはじめ大気汚染などの研究を続けており、1年半前から今回の実験に着手。実験は、Blank(何も塗らない)、幻の漆喰を塗布、PCWを塗布の三つのガラス板を比較したほか、幻の漆喰、PCWを塗

った木製のボックス内にスギ花粉を飛散させ、アレルギーについて6時間の変化を調べた。ガラス板での実験では、アレルギー濃度の低減率は幻の漆喰が93%、PCWが98%となった。王教授は「この二つの漆喰は花粉を吸着する効果があり、花粉の飛散が起きなかつたと考えられる」と説明。「花粉学会でも注目を集めた。今後はメカニズムの解明を進めたい」と話し、大気汚染や花粉症がある海外も視野に入れた研究成果の発信にも期待を込めた。

カイケンの浦上社長は「幻の漆喰は花粉症のお客さまから『室内に入るとくしゃみが出ない』という声が多数寄せられたことから、王教授に解析を依頼した。今回の結果を受け、これまで以上に健康自然建材を多くの方に提供していきたい」と話した。



「幻の漆喰®」を塗布した壁。カイケンコーポレーションが独自開発した「光熱触媒」作用により、実験結果にもある花粉アレルギーを吸着・分解するほか化学物質などを吸着・分解する

【問い合わせ先】
 カイケンコーポレーション(株)
 住所/福岡市早良区野芥2-27-5 フリーダイヤル/0120-874-814
 www.e-kaiken.com/
 ※販売は同社と直接取引をしている建設会社のみで取り扱い。沖縄県内についても上記へ問い合わせを。

住むほどに居心地が良くなる「ゆがふ家」モデルルーム見学相談会

空気がうまい家

幻の漆喰®
天然の空気清浄器

音響熟成木材づくりの床
素足にやさしく心地いい床材

竹炭入り清浄畳
マイナスイオン効果で清々しく

随時 要予約

シックハウスによるアトピー喘息、アレルギー性鼻炎でお困りの方に朗報!

健康住宅を体感

住んで健康になる住まいの神髄をぜひ一度ご覧ください。

「リフレクティックス」使用
断熱材を使わない遮熱正法

安心の快適空間を実現
宇宙産業から生まれた超薄型高遮熱材

住まいに安らぎを

有限会社 ラムハウジング

住所/〒904-0113 沖縄県北谷町字宮城1-465
 ■建設業許可/沖縄県知事(般-19)第11285号
 ■介護福祉事業4772400117

■見学時間/10:00~18:00
 ■URL/http://www.lamb-h.com

要予約 受付

098-936-8808